

# F-REDD Newsletter

## Sustainable Forest Management and REDD+ Support Project

Nov 2015 - Sep. 2021

### 持続可能な森林管理及びREDD+支援プロジェクト (F-REDD)

本プロジェクトの目的はREDD+に係る戦略策定、実施体制構築、実施のコーディネーションの支援と森林資源情報の整備などに係る能力の強化をはかり、それによってラオスの持続的な森林管理の促進に寄与することです。農林省森林局(MAF-DOF)を実施機関として協力しています。

## ラオス国のREDD+成果がUNFCCCへ報告されました

前号(17号)に続けての朗報です。このたび、ラオス国のREDD+成果が第1回隔年更新報告書(1st BUR)<sup>\*1</sup>のREDD+ Technical Annexとして国連気候変動枠組み条約(UNFCCC)へ正式に提出されました。UNFCCCのREDD+決議に沿ってこれを提出したのは世界で15か国目、東南アジアではマレーシア、インドネシアに続く3か国目です。昨年よりF-REDDが森林局(DOF)と共に森林区分図作成や全国森林調査を経て排出削減・吸収増加量の算定を行ってきた支援の結実と言えます。また、BURの作成を担い、対UNFCCC窓口でもある天然資源環境省(MONRE)との協調も重要で

した。これに併せてDOFのウェブサイトで成果算定の詳細を説明した技術報告書一式<sup>\*2</sup>が公開されています。

11月からは提出されたREDD+成果に対するUNFCCCの技術審査が開始されます。この審査はラオスのREDD+成果の透明性確保に加えて、緑の気候基金(GCF)のREDD+成果支払いの申請要件としても必須です。2018年の森林参照レベル<sup>\*3</sup>提出時の審査からさらに経験を積めるよう、DOF並びにMONREと準備を進めています。

\*1: <https://unfccc.int/BURs>

\*2: <http://dof.maf.gov.la/en/publications/>

\*3: <https://redd.unfccc.int/submissions.html?country=lao>

## 森林減少モニタリングシステムの展開を図っています

F-REDDでは、森林減少をモニタリングするための衛星画像を活用した県森林減少早期モニタリングシステム(PDMS)を開発し、モニタリング手法と実施体制の強化を図ってきました。ルアンプラバン県とウドムサイ県の森林部局と協力し、2020年乾期(1~4月)に、村落の森林エリアを対象としたモニタリングを実施した結果、ルアンプラバン県では、16村約19,600haの村落森林エリアにおいて55件、また、ウドムサイ県では、5村の約19,000haにおいて、82件の森林減少の報告がありました。実際にPDMSを利用した森林官のレビューによると、衛星画像解析やGISの専門知識がなくても使用できる簡易なツールであり、より効果的、効率的にモニタリングが可能になったとの評価を受けました。今回、開発・試行したPDMS

は、今後、他地域への展開を見込んでおり、F-REDDは緑の気候基金(GCF)のREDD+実施プロジェクトと連携して、ルアンプラバン県を含めた北部3県でモニタリングを実施する予定です。また、ウドムサイ県では、FCPFプロジェクトの資金を使って県内に拡大したい意向を示しています。



村人と共に森林減少地の現況を確認

## 緑の気候基金(GCF)のREDD+成果支払いへの取り組みが本格化しています

前号でJICAがGCF認証機関としてラオス政府のREDD+成果支払いへのアクセスを支援することについて報告しましたが、まず、第1段階として9月13日にConcept NoteがJICAよりGCF事務局に提出されました。その後、ラオス政府及びJICAは2021年4月のファンディングプロポーザル(FP)提出、同年11月頃の第30回理事会での審査・承認を目指しFPの作成に取り組んでいます。FPでは成果支払い資金を用いた事業(GCF/JICA事業；仮称)の概要も記載する必要があり、審査の重要な項目となっています。

ラオス森林局はこのため関係課代表からなるTask Force (TF)を立上げ、FREDDとまず森林変化状況、他の大規模な森林保全プロジェクト等の分析などをもとにラオス南部5県において隣接する保全林・保護林を組み合わせた4か所のランドスケープを事業候補地として選定しました。これら4か所のランドスケープについて候補地として調査等を行う合意を得るため9月28日に南部のパクセ市において5県代表者、森林局長、調査チーム及びF-REDD関係者と会合を行いました。

会合においてはREDD+や成果支払いの概要とともに候補地の選定経緯等を説明し、候補地として調査を行う合意を得るとともに、会合後引き続き1週間にわたって第1次調査を実施しました。今後もより目的や対象地を絞った調査を行うとともにTFとの協議を通じてGCF/JICA事業案を取りまとめその概要をFPに記載していく予定です。

## 成果毎の主な活動

### 成果1：中央政府の森林セクター支援

- ◆森林戦略2020の評価および森林戦略2030の方向性検討
- ◆森林サブセクターWG会合の開催

### 成果2：REDD+実施による排出削減・吸収増加量の測定支援

- ◆森林炭素パートナーシッププロジェクト（FC PF）により調達されたNFMSに係るIT機材・ソフトウェアを用いたNFMS再構築の完了
- ◆NFMS（国家森林モニタリングシステム）ロードマップの作成
- ◆森林劣化・回復モニタリング向上のための準備

### 成果3：国レベルのREDD+支援

- ◆BUR1、REDD+技術アネックスUNFCCC提出
- ◆GCF REDD+成果支払いのFP案作成、南部県会合、現地調査

### 成果4：ルアンプラバン県およびウドムサイ県のREDD+準備支援

- ◆県森林減少早期モニタリングシステムの実施とレビュー会合
- ◆野菜栽培のための有機肥料等の作成にかかる技術研修および家畜飼育にかかる技術研修（ルアンプラバン）
- ◆植林活動（技術研修及び苗木の配布）の支援（ウドムサイ）

## コンタクト

### プロジェクトオフィス

Kouvieng Street, Sisaket Village, Chanthabouli District,  
Vientiane Capital, Laos  
Tel & Fax: 021(22)2536

### プロジェクトHP

<http://www.jica.go.jp/project/laos/018/index.html>



農林省  
Ministry of  
Agriculture and  
Forestry (MAF)

